

# だんないの道

## 第 58 号



題字・イラスト 福井 美里

2024年1月26日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない  
代表者:美濃部裕道  
連絡先:〒529-0423  
滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL :0749-50-3639  
E-mail:[info@cil-dannai.jp](mailto:info@cil-dannai.jp)

代表あいさつ	..... P1	人生の3週目	..... P2
職員リレートーク	..... P3	活動報告	..... P5
編集後記	..... P8		

### 代表あいさつ

2024年。新年早々、能登地方を襲う大地震が発生し、大津波や家屋の倒壊などによって多くの被害が出ました。亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げるとともに、今もなお多くの行方不明や避難生活をされている方々がおられます。改めてお見舞い申し上げます。

地震が発生した時、私は彦根にある大型商業施設にいました。突然鳴り出したスマホの警戒アラームに驚き、間もなくして他のお客さんのスマホも次々と鳴り出しました。とっさのことに何も動けない自分に、あとになって危機を覚えました。頭では分かっている、いざ発生すると冷静な行動を取れない自分がいました。自分自身の防災意識の低さを痛感しました。

昨年、事業所にはBCP（事業継続計画）の策定が義務付けられました。災害などが起こった際に、どのように事業継続していくかという計画です。だんないでも現在進めているところですが、今回の地震で改めて考えておく意義を感じさせられました。

そのほかにも暗いニュースが続いた2024年の幕開けとなりましたが、だんないでは今年も3月に周年記念シンポジウムを開催します。テーマは「ユニバーサルデザイン推進の年へ～わた SIGA 輝く国スポ・障ス

ポ2025を契機として～」です。

滋賀県では2025年に開催される国民スポーツ大会に向けて、様々な準備が着々と進んでいます。実施会場はもちろん、周辺エリア等のユニバーサルデザイン化が期待されるところです。昨年には、「<sup>おうみ</sup>淡海ユニバーサルデザイン行動指針」が策定され、ユニバーサルデザイン推進に向けた考え方や行動指針が示されました。

また、大阪では万国博覧会も開催され、関西地区としても2025年はユニバーサルデザインに向けたスピードアップへの<sup>しきんせき</sup>試金石にしたいものです。そこで今回のシンポジウムでは、「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」策定委員会のメンバーの方々に基調講演とパネルディスカッションをお願いし、今後の湖北地域や滋賀県のユニバーサルデザインのまちづくりに向けて考え合う時間にしたいと思います。

国スポ・障スポや大阪万博によってユニバーサルデザインが進むことは、今回の地震のように緊急事態が起こった際、私たち障害者がどのように地域の中で生活を続けられるかという点で、とても重要な鍵となります。災害などが起こっても排除されない地域こそが多様性を尊重される成熟した社会と言えるのではないのでしょうか。その社会を目指す、きっかけになればと思います。

最後に、美濃部個人の今年の目標を書きます。今年は横浜に行って、赤レンガの港でビールを飲みながら海を見て、たそがれます。そんな思いが叶えられるような、ゆとりのある年になればと願うばかりです。

美濃部 裕道 (みのべ ひろみち)

---

## 人生の3週目

木村 徹 (きむら とおる)

今年辰年。6回目の年男です。

気が付けば、こんな年になってしまいました。36歳で視覚障害者となり、見えない世界を知って、36年。見える人生と見えない人生の半分ずつ。どちらもかけがえのない時間を過ごしてきましたが、後半の見えない時間では人との関わりが特に深く大切なものと知りました。見えている時は、特に不便さを感じる事がなかったので、人に助けってもらっているということにすら気づかない生活を送っていました。あまり、人と話すことも得意ではなく、自分の時間を一人で楽しむタイプでした。ところが、目が見えなくなり、そうはいかなくなりました。自分から声をかけて聞かなければ周りの状況はわかりませんし、困っていることを伝えなければ、誰も助けてはくれません。そうやって、36年暮らしているうちに、昔よりは<sup>いくぶん</sup>幾分人との関りの大切さに気付くことが出来たように思っています。

だんないにお世話になり、早4年が経とうとしています。だんないの皆さんも、さざなみのヘルパーさ

んも、非常に若いです。僕の孫くらいの年の人が多く、いつも元気をもらい、刺激を受けて暮らしています。70歳を超えて、若い人や他の障害のある人と関わりが増え、このような刺激の多い人生が送れることもまた、見えている時では味わえない経験をたくさんさせて頂いたと思っております。そう思うと、後半の人生もまた目には見えないけど(笑)色鮮やかな人生を僕は生きているのではないか、と思う今日この頃です。

僕の人生を36年で区切るとすると、今年は3週目。もう何が起きるかわかりません。昨年も、アキレス腱断裂という大けがをして、皆様には大変ご迷惑とご心配をお掛けしました。今年は、ケガや健康に気を付けて、それでもなお、一日一日を楽しく、思う存分に過ごしていきたいと思っておりますので、皆様<sup>あき</sup>呆れずにどうぞ今年もよろしくお願い致します。

## 職員リレートーク

こんにちは！だんないの道2回目の栗原です。今年の冬はあたたかな日が多く雪が少なく私が長浜で過ごした4年間の中で一番過ごしやすかったと感じました。現在、私は大学4年生。3月に大学を卒業する予定でその後は神奈川県での就職が決まっています。学生だったのが社会人の仲間入りということで不安な気持ちでいっぱいですが頑張りたいと思います。私が過ごした大学生活の4年間は色々な経験ができ多くのことが起こりました。私の中で印象的だったコロナとアルバイトについて紹介させていただきたいです。

1つ目はコロナウィルスがありました。大学入学と同時期に流行したため大学生活のスタートは借りたばかりの部屋でパソコンと向き合いながらリモート授業を受け、友達も少なく知り合いもいなかったためさみしくなり実家に帰り自動車学校に通っていました(笑)。コロナ流行で通常の学生生活は送れなかったのですが自分の時間も増え、免許もとれたので悪いことだけではなかったと感じました。

次にアルバイトです。割烹料理屋、パン屋、そしてだんないで働かせていただきました。私のなかではだんないでの経験が一番勉強になり良い経験ができたと感じております。バリアフリーについてだったり地域の方と関わったりしたことで福祉と人との関わり方を学びました。とくに、「相手の意見や気持ちを尊重し行動をする」。当たり前のことなのかもしれませんが、大学だけで4年間を終えていたらあまり意識できなかったと感じています。大学では実験や研究などするのですが結果や目的達成ということが重視されてしまいそれを行っていた「人」自体が見られることが少ないです。分野がちがうので仕方がないことで、結果や目的を達成させることも大切だと思いますが、そこに至るまでの相手の考え方や気持ちを知り、自分が行動することでお互いに良い関係になると私は思うので、社会に出てもこのことを忘れず行動したいと思います。約2年間だんないでお世話になりました。ありがとうございました。

## 活動報告

11月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
3日	ピープルおいも料理会
5日	ボッチャ大会～アル・プラザ長浜杯！～
7日	職員研修「障害者権利条約から日本の精神医療を考える」
8日	長浜市成年後見ネットワーク会議
9日	湘南農業高校講演
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 社会資源マップ作成プロ
14日	ケース会議
15日	だんマル会議
16日	障害者施策推進評議会(傍聴)
17日	生き生きサロン
18日	梅切らぬバカ上映会 みんなで作るスナックO
19日	ボッチャ体験会ビバシティ in ボランティアフェスティバル

20日	元気マンサロン
21日	だんない企画会議
22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班
23日	第14回被災障害者⇔関西ポジティブ生活交流祭
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学卒運営会議
25日	大阪精神医療人権センター周年記念講演会「精神科病院での虐待をなくすために」
26日	電動車椅子サッカー リュートスター練習会
27日	ピアピア
28日	障大連全体会 ネイルサロン
30日	長浜市立びわ北小学校講演 長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護虐待防止班
12月1日	長浜市立高月中学校講演
2日	だんない当事者交流会
4日	長浜市立西中学校講演

6日	<p>長浜市立伊香具小学校講演</p> <p>長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議</p>
11日	<p>だんマル会議</p>
13日	<p>地域で福祉の心を育もう</p>
14日	<p>米原市障がい者計画等審議会</p>
15日	<p>生き生きサロン</p>
16日	<p>みんなで作るスナック〇1周年</p>
17日	<p>私のはなし部落のはなし</p> <p>ネイルサロン</p>
18日	<p>元気マンサロン</p>
19日	<p>だんない企画会議</p>
20日	<p>長浜米原しょうがい者自立支援協議会運営委員会</p> <p>長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班運営会議</p>
21日	<p>だんないクリスマス会 2023</p> <p>長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護医療ケア検討班</p>

25日	ピアピア
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班
28日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護虐待防止班
1月5日	書き初め大会
10日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
13日	京都デザインフォーラム
15日	元気マンサロン
16日	BCP 防災についての研修
18日	だんマル会議
19日	生き生きサロン
20日	みんなで作るスナックO
27日	福祉とデザイン
28日	ピープル☆ギョーザ

## — 編集後記 —

今年はいまだかつてない大変な幕開けとなりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。きっと被災地の復興を願いながら毎日を送ってられることと思います。

今の時期、<sup>こがい</sup>戸外をゆっくり散歩する機会はあまりないかもしれませんが、木村さんの寄稿は、じっくりとご自分の“道”を確かめながら歩んでいることを感じさせる含蓄深いものでした。ありがとうございました。

かたや、だんないは行くべき“道”をできる限り全力で走っています。スピードが増すと、だんだん周りの景色が目に入らなくなり、前へ前へと目が向くのと同じように、目指すべき目標に焦点を合わせながら<sup>しっそう</sup>疾走しています。そのことを、代表 美濃部のあいさつも表していました。また、職員リレートークの栗原の原稿を通して、今一度思いを新たにすることができました。

職員一同、これからも「チームだんない」として尽力する所存です。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今号もお読みいただき、ありがとうございました。

(編集部)

NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道 副代表 中川佑希

理事 谷口健人、前田貴行、横山卓馬

URL : cil-dannai.jp

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

E-mail : info@cil-dannai.jp

00940-2-209115